

令和元年度 決算報告書

国立大学法人山形大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	11,079	11,717	638	(注1)
施設整備費補助金	2,086	1,443	△ 643	(注2)
補助金等収入	672	712	39	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	41	41	-	
自己収入	25,097	26,361	1,263	
授業料、入学料及び検定料収入	4,795	4,737	△ 58	
附属病院収入	19,933	21,009	1,076	(注4)
雑収入	368	614	245	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,451	5,812	2,360	(注6)
引当金取崩	18	9	△ 9	
長期借入金収入	612	612	-	
貸付回収金	-	1	1	
目的積立金取崩	272	589	316	(注7)
計	43,333	47,301	3,968	
支出				
業務費	35,112	36,573	1,461	(注8)
教育研究経費	14,795	14,980	185	
診療経費	20,317	21,593	1,275	
施設整備費	2,740	2,096	△ 643	(注9)
補助金等	672	712	39	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,451	3,967	515	(注11)
貸付金	-	2	2	
長期借入金償還金	1,355	1,310	△ 45	
計	43,333	44,663	1,330	
収入-支出	-	2,638	2,638	

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、前年度繰越額により、予算額に比して決算額が638百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、一部の事業が翌年度に繰越しとなったため、予算額に比して決算額が643百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、計画の段階で予定していなかった補助金等の受入があったため、予算額に比して決算額が39百万円多額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、外来患者及び入院患者にかかる診療単価の増等により予算額に比して決算額が1,076百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、財産貸付料収入の増等により、予算額に比して決算額が245百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が2,360百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、一部事業の進捗により、予算額に比して決算額が316百万円多額となっています。
- (注8) 業務費については、(注4)及び(注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,461百万円多額となっています。
- (注9) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が643百万円少額となっています。
- (注10) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が39百万円多額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が515百万円多額となっています。